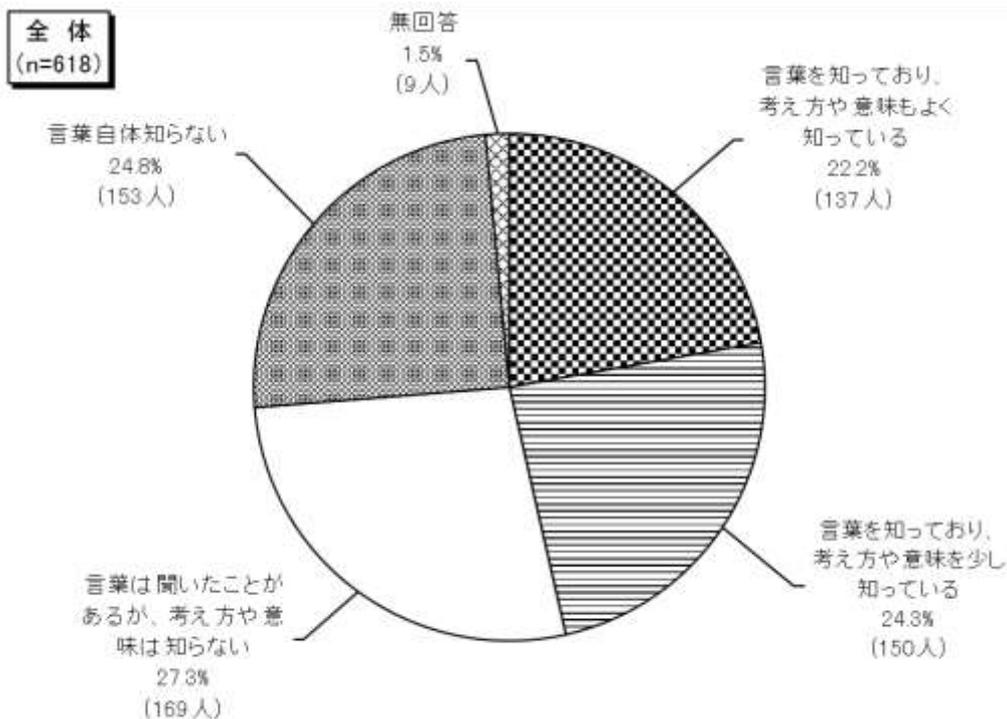


## 9. ユニバーサルデザインについて

### (1) 言葉の認知状況

問 24 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

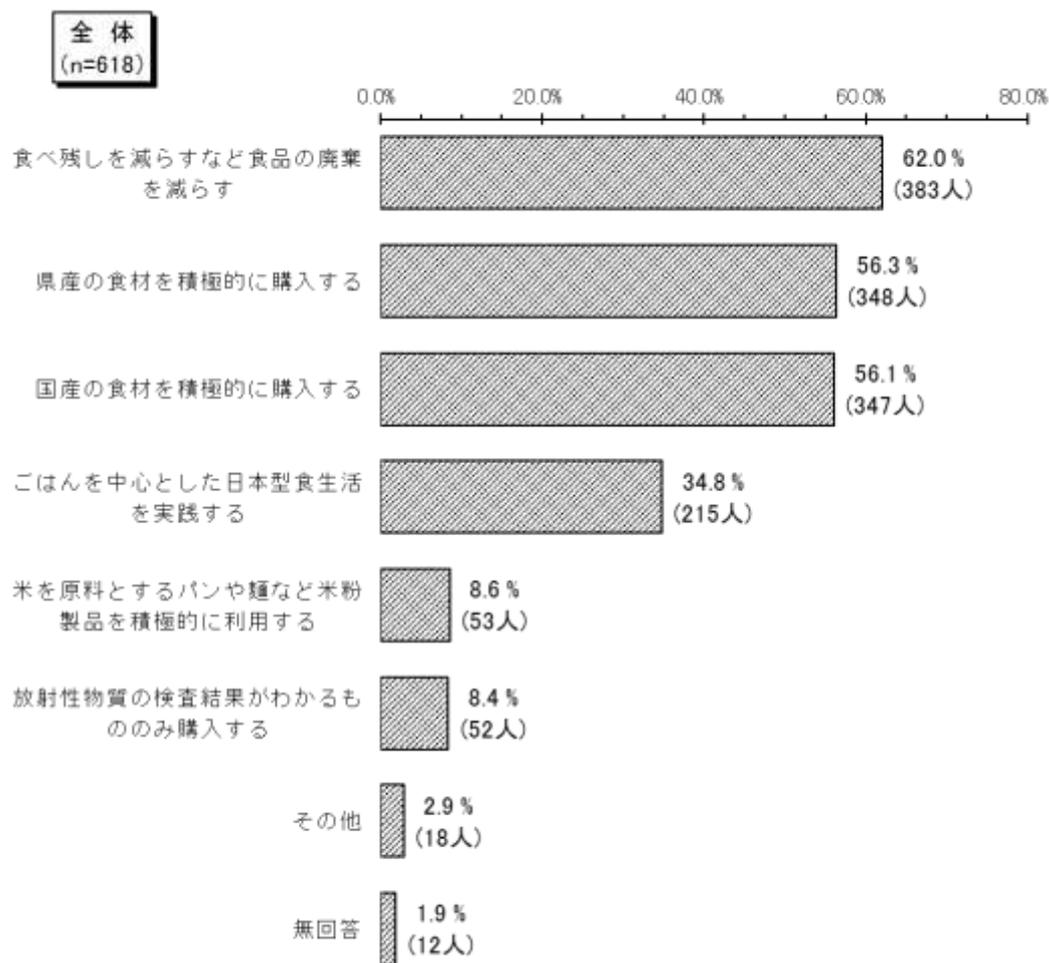


ユニバーサルデザインという言葉について、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」(27.3%)の割合が最も多く、以下、「言葉自体知らない」(24.8%)、「言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」(24.3%)、「言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」(22.2%)となっている。

## 10. 農林水産業について

### (1) 農林水産物の購入や食生活で実践しているまたは実践したいこと

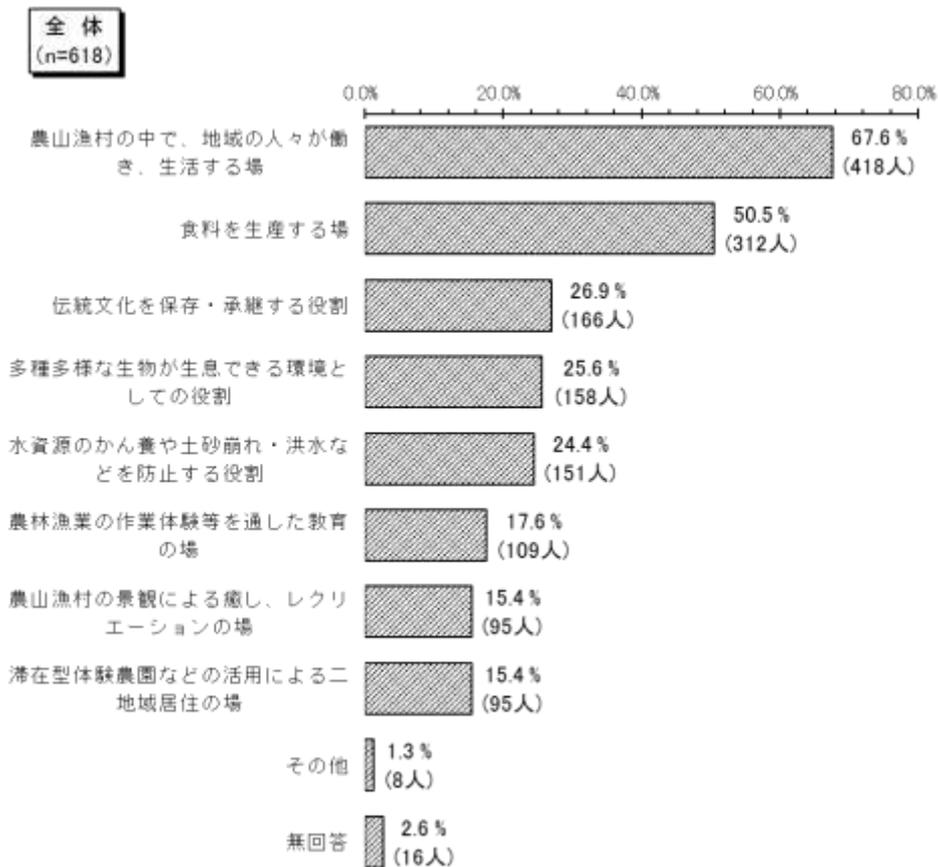
問 25 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。  
あてはまるものはいくつでも○をつけてください。(複数回答可)



震災後、農林水産物の購入や食生活で実践しているまたは実践したいことは、「食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす」(62.0%)が最も多く、約6割となっている。次いで、「県産の食材を積極的に購入する」(56.3%)と「国産の食材を積極的に購入する」(56.1%)が5割台、「ごはんを中心とした日本型食生活を実践する」(34.8%)が3割台となっている。

## (2) 農山漁村の役割として期待すること

問 26 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。  
 あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。(複数回答可)



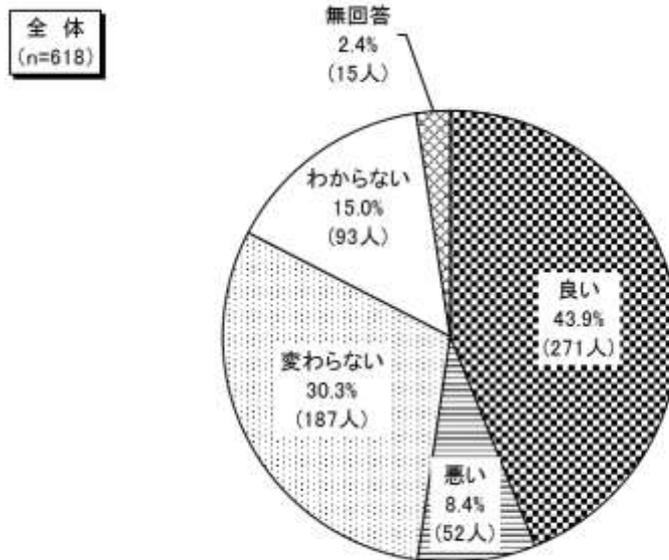
農山漁村の役割として期待することは、「農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場」(67.6%)が最も多く、6割を超えている。次いで、「食料を生産する場」(50.5%)が約5割となっている。以下、「伝統文化を保存・承継する役割」(26.9%)、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(25.6%)、「水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(24.4%)が2割台、「農林漁業の作業体験等を通じた教育の場」(17.6%)、「農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場」(15.4%)、「滞在型体験農園などの活用による二地域居住の場」(15.4%)が1割台で続いている。

## 1 1. 地域社会の安全・安心（治安）について

### （1）現在の治安状況

問 27 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



現在の居住地の治安状況が「良い」（43.9%）と思う人は4割台となっている。

一方、治安状況が「悪い」（8.4%）と思う人は1割未満となっている。

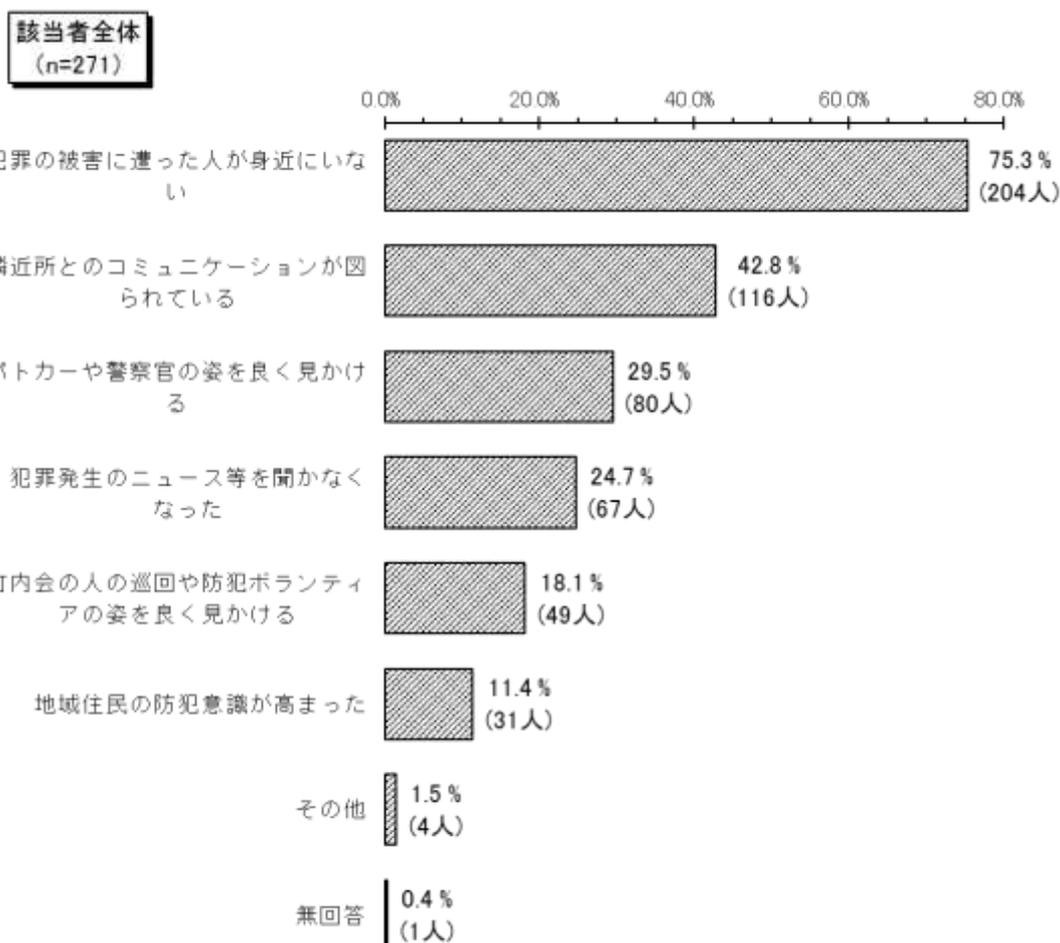
また、「変わらない」（30.3%）が約3割となっている。

## (2) 治安状況が良いと思う理由

(問 27 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 27-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



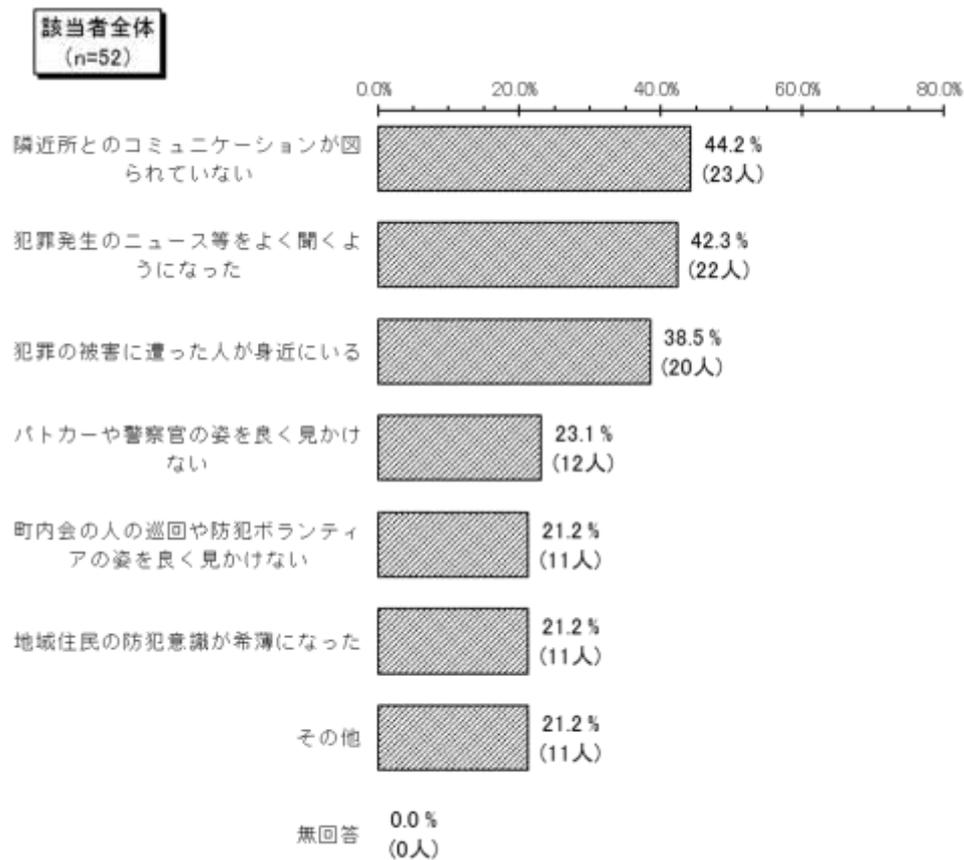
治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(75.3%)が7割台と最も多く、次いで、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(42.8%)が4割台となっている。以下、「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(29.5%)が約3割、「犯罪発生のニュース等を聞かなくなった」(24.7%)が2割台、「町内会の人々の巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける」(18.1%)、「地域住民の防犯意識が高まった」(11.4%)が1割台で続いている。

### (3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 27 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 27-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

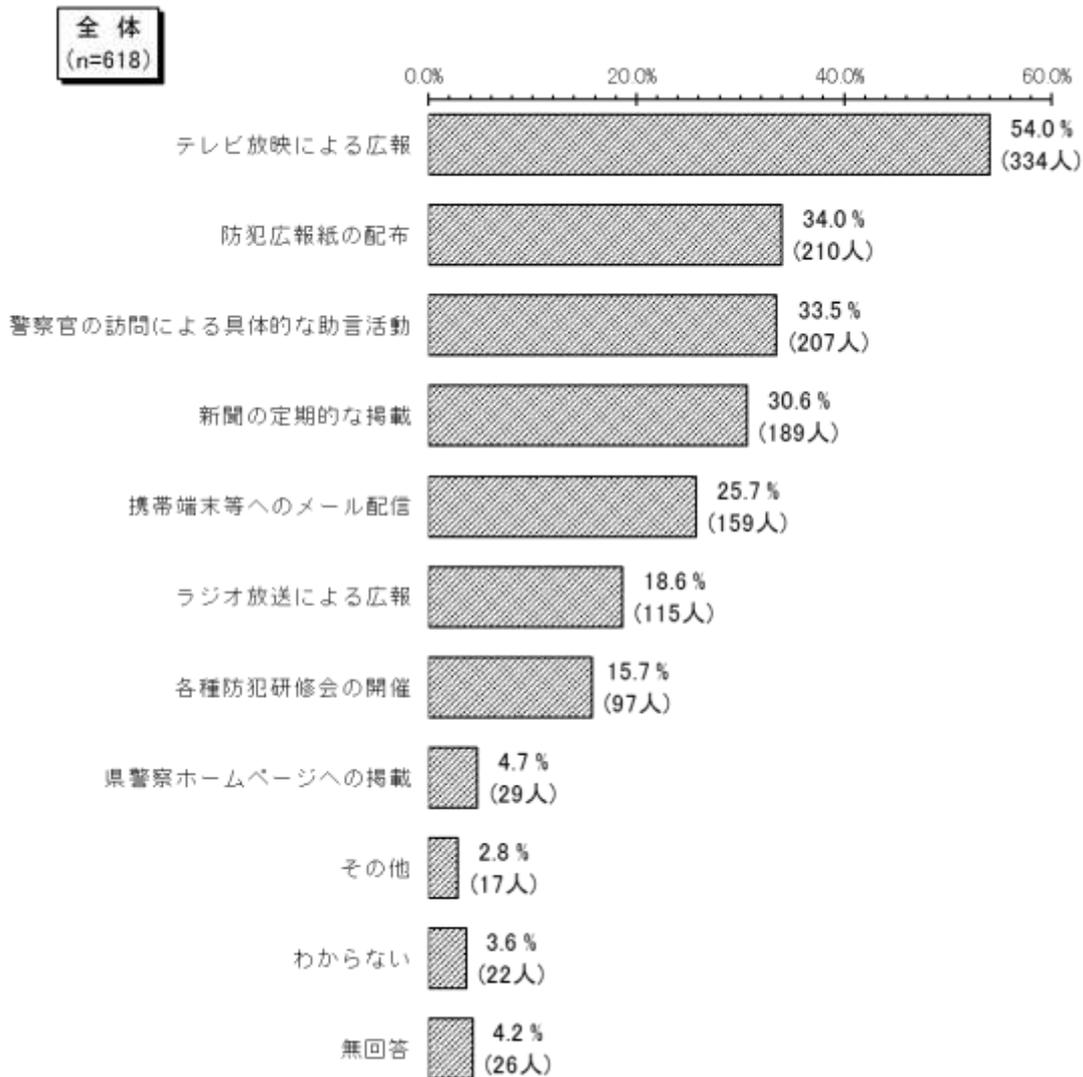


治安状況が悪いと思う理由は、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(44.2%)が最も多く、次いで、「犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった」(42.3%)が4割台となっている。以下、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」(38.5%)が3割台、「パトカーや警察官の姿を良く見かけない」(23.1%)、「町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かけない」(21.2%)、「地域住民の防犯意識が希薄になった」(21.2%)が2割台で続いている。

#### (4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段

問 28 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

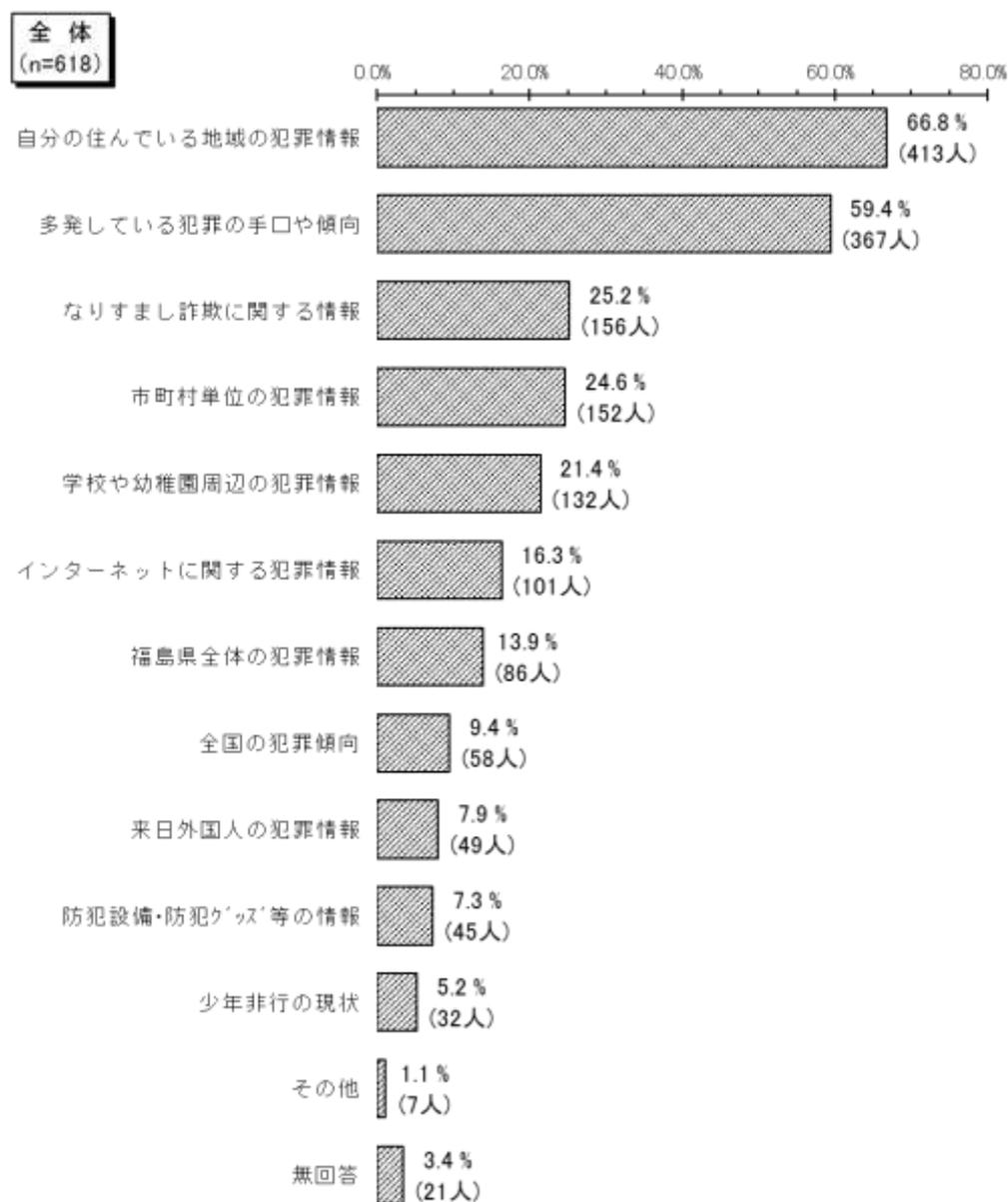
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供方法については、「テレビ放映による広報」(54.0%)が5割台と最も多くなっている。以下、「防犯広報紙の配布」(34.0%)、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(33.5%)、「新聞の定期的な掲載」(30.6%)が3割台、「携帯端末等へのメール配信」(25.7%)が2割台、「ラジオ放送による広報」(18.6%)、「各種防犯研修会の開催」(15.7%)が1割台で続いている。

## (5) 犯罪に関して知りたい情報

問 29 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

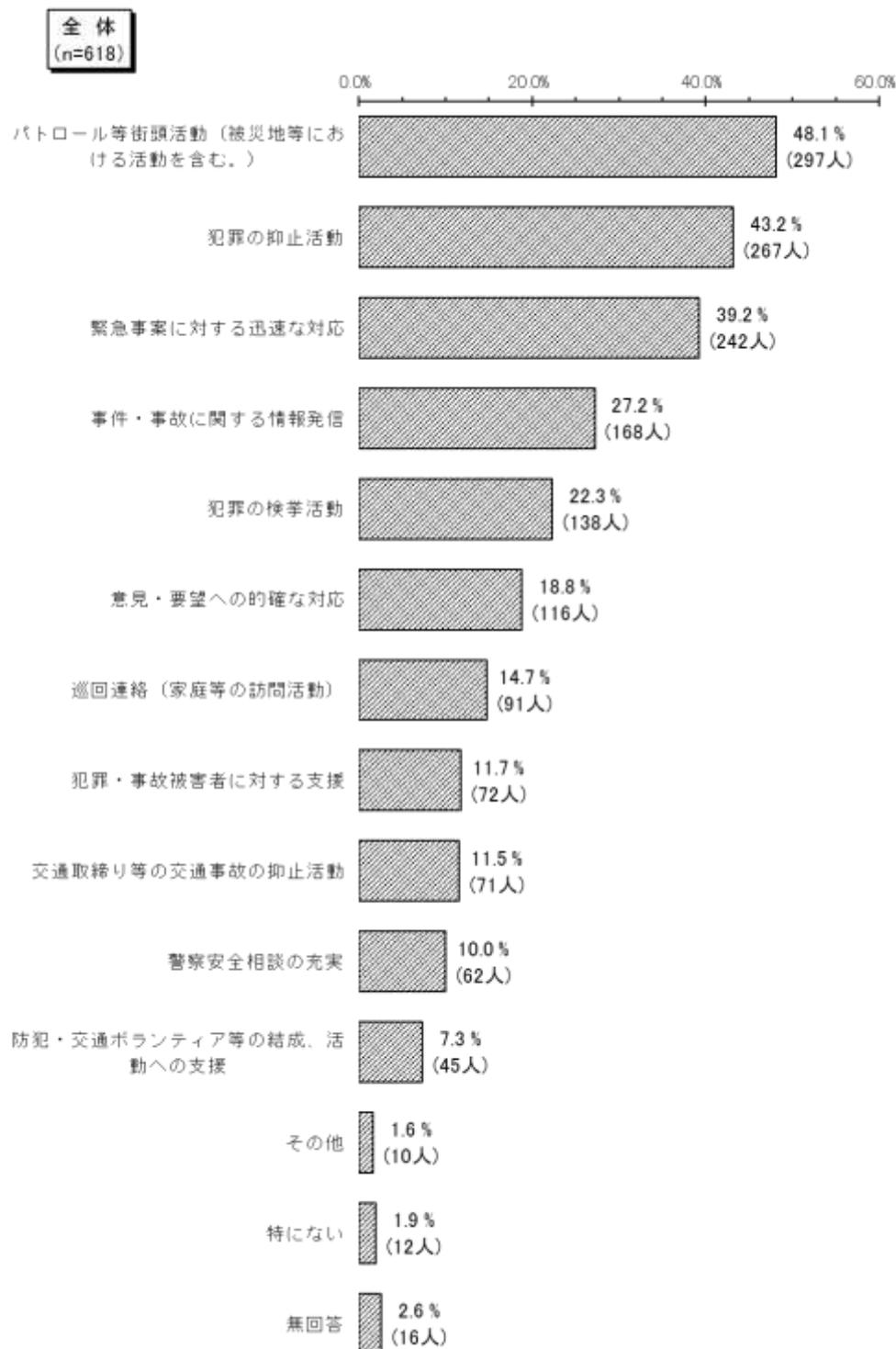


犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(66.8%)が最も多く、6割台となっている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」(59.4%)が約6割となっている。以下、「なりすまし詐欺に関する情報」(25.2%)、「市町村単位の犯罪情報」(24.6%)、「学校や幼稚園周辺の犯罪情報」(21.4%)が2割台、「インターネットに関する犯罪情報」(16.3%)、「福島県全体の犯罪情報」(13.9%)が1割台で続いている。

## (6) 警察に強化してほしい活動

問 30 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



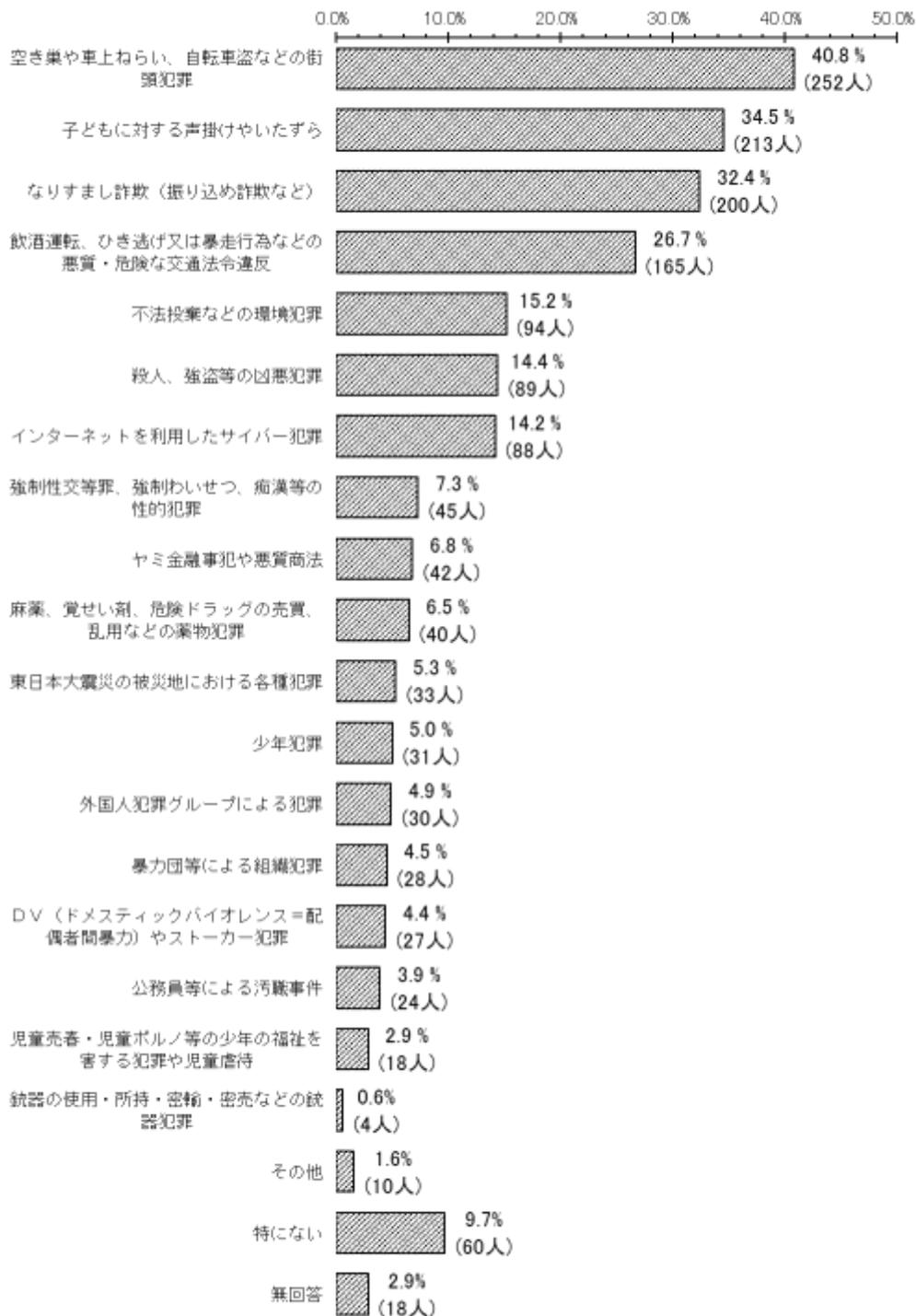
警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）」（48.1％）が最も多く、次いで、「犯罪の抑止活動」（43.2％）が4割台となっている。以下、「緊急事案に対する迅速な対応」（39.2％）が3割台、「事件・事故に関する情報発信」（27.2％）、「犯罪の検挙活動」（22.3％）が2割台、「意見・要望への的確な対応」（18.8％）、「巡回連絡（家庭等の訪問活動）」（14.7％）、「犯罪・事故被害者に対する支援」（11.7％）、「交通取締り等の交通事故の抑止活動」（11.5％）、「警察安全相談の充実」（10.0％）が1割台で続いている。

## (7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

問 31 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=618)

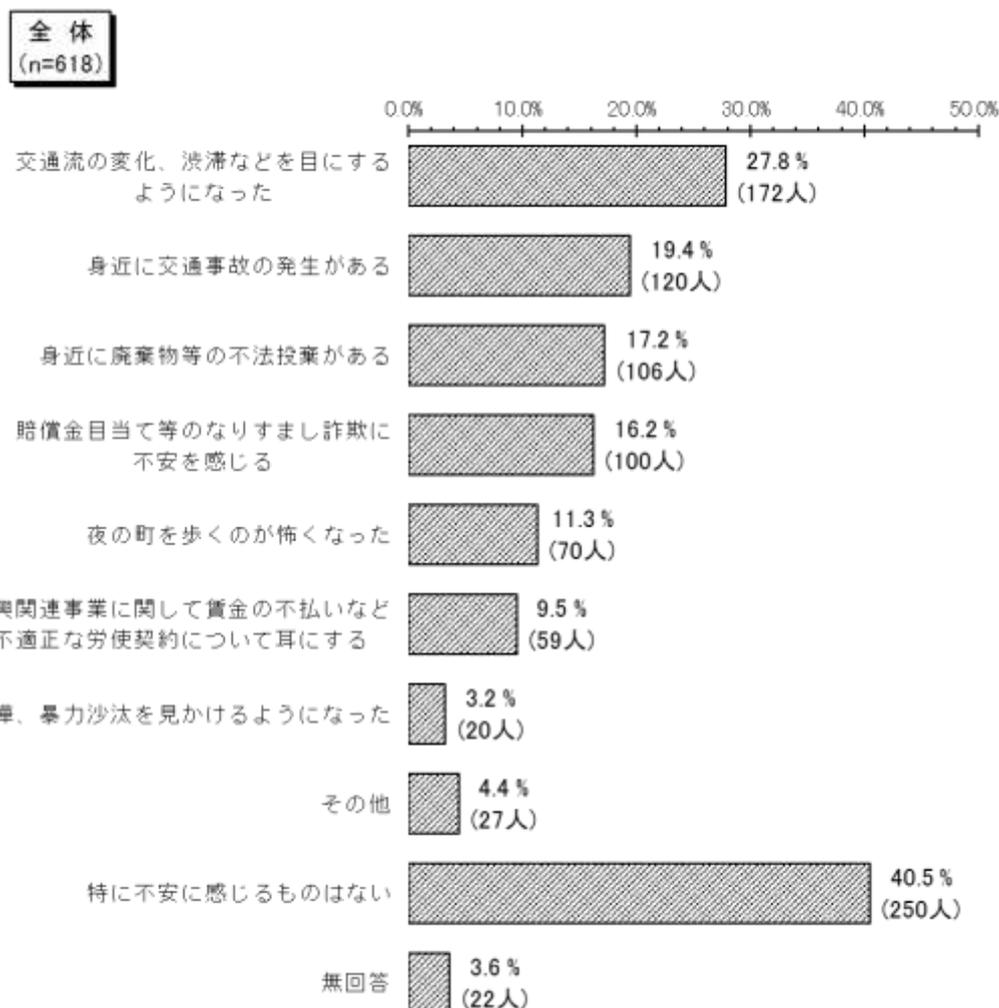


今後重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(40.8%)が最も多く約4割、次いで、「子どもに対する声掛けやいたずら」(34.5%)、「なりすまし詐欺(振り込め詐欺など)」(32.4%)が3割台となっている。以下、「飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反」(26.7%)が2割台、「不法投棄などの環境犯罪」(15.2%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(14.4%)、「インターネットを利用したサイバー犯罪」(14.2%)が1割台で続いている。

## (8) 身近に感じる不安

問 32 震災から8年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



復興に伴い治安面で身近に感じる不安は、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(27.8%)が最も多く3割弱となっている。以下、「身近に交通事故の発生がある」(19.4%)、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(17.2%)、「賠償金目当て等のならすまし詐欺に不安を感じる」(16.2%)、「夜の町を歩くのが怖くなった」(11.3%)が1割台となっている。

なお、「特に不安を感じるものはない」(40.5%)が、約4割となっている。